

宇部市コミュニティ・スクール推進協議会でのこれまでの協議内容について

本協議会での過去4年間の協議内容です。

昨年度はコロナ感染症の影響で、第1回協議会は度重なる延期を経て10月に実施し、第2回協議会は中止となり、十分な活動ができませんでした。

これまでの協議、アンケート調査を基に、本年度の課題解決に向けた重点的な取組を「コミスクリーフレット」と「コミスクだより」に明示し、学校運営協議会を中心として具体的に課題の解決を進めています。

| 平成29年度 | |
|--------|--|
| 取組方針 | <ul style="list-style-type: none"> ■推進体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な活動を生み出す組織になっているか (運営協・PTA・学校組織のリンク、推進部会、コーディネーター) ・活動場所があるか ■学校運営協議会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校課題を共有し、解決に向けた協議になっているか(熟議) ■地域への啓発・周知 <ul style="list-style-type: none"> ・コミスクの成果(児童生徒の変容)を発信しているか ・届けたい内容・届けてほしい情報になっているか |
| 平成30年度 | |
| 取組方針 | <ol style="list-style-type: none"> 1 目標達成や課題解決に資する推進体制の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・動きを作る推進体制 (目指す学校づくりに向けた推進体制の組織力強化) ・地域コーディネーターや統括コーディネーターの育成 ・学校・保護者・地域の連携・協働・参画 2 学校運営協議会の機能の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・目的をもった協議や協議の進行(委員主体の運営) ・会長、校長、事務局の事前協議 ・課題の共有と解決につながる協議 3 コミュニティ・スクールの3機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校地域連携カリキュラムの作成 4 小中一貫教育に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標の立案と児童生徒像の共有 ・小中合同研修や小中教職員の相互乗り入れの実施 ・教育課程の円滑な接続と一貫カリキュラムの具体化 5 関係団体・部局との連携と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・関係各課の市推進協議会参加(地域支援チーム等) ・コミスク通信、学校便り、ホームページ、校区広報誌 |
| 課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1 学校運営協議会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達型協議会から連携・協働型協議会への転換 |

| | |
|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校づくりに不可欠な 「熟議」「協働」「マネジメント」を推進する部会の実施。 |
| 2 | <p>地域コーディネータの活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターの発掘、活動の充実、ネットワークづくりの支援 |
| 3 | <p>地域協育ネットの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協育ネットの目標や役割を学校・保護者・地域が共通理解（小中連携、小中一貫教育と区分）。 ・「概ね 15 才までの子どもの育ちや学びを地域総がかりで見守り支援する」という考えに基づき、地域協育ネットの目標を設定し、地域組織の有機的連携を推進 |

令和元年度

| | | |
|------|---|-------------------------------|
| 取組方針 | 1 | 学校と地域による重点目標やめざす児童生徒の共有 |
| | 2 | 学校教育目標の実現と課題解決に向けた推進体制の強化 |
| | 3 | 「開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換 |
| | 4 | コミュニティ・スクールの機能を活かした人材育成と地域づくり |
| | 5 | コミュニティ・スクールの取組の情報発信 |

| | | |
|----|---|------------------|
| 課題 | 「コミュニティ・スクールの意義や目的を意識した取組」 (児童生徒の学運協への参画、地域行事への参画) | |
| | 「地域住民への情報発信」 (地域コーディネーターの育成、情報共有の推進) | |
| | 1 | 学校運営協議会の充実 |
| | 2 | 地域コミュニティの場づくり |
| | 3 | 地域コーディネーターの育成・連携 |
| | 4 | 地域に届く情報発信の工夫 |
| 5 | 地域学校協働活動の推進 | |

令和2年度

| | | |
|------|---|---|
| 取組方針 | 1 | 学校運営協議会の充実 |
| | | (1) 課題解決のための協議の実施 |
| | | (2) 児童生徒の参画、意見を生かした協議の実施 |
| | | (3) 協議会の部会の設置と具体的な協議の実施 |
| | | (4) 新たな協議委員の人選 |
| | 2 | 地域コミュニティの場づくり |
| | | (1) コミスクルーム等の学校施設の一層の開放 |
| | | (2) 開校された方々との日常的な交流の促進 |
| | 3 | 地域コーディネーターの育成・連携 |
| | | (1) 各地区での依頼と地域連携担当教職員との連携 |
| | 4 | 地域に届く情報発信の工夫 |
| | | (1) 学校ホームページでのコミスク情報の発信とコミスク課のホームページの充実 |
| | 5 | 地域学校協働活動の推進 |
| | | (1) 各地区の社会教育推進委員会（社教推）との連携 |
| | | (2) 「学校を核とした地域づくり」への積極的な貢献 |

| | |
|----|--------------------------------------|
| 課題 | 1 地域コーディネーターの役割の明確化、学校運営協議会とのつながり |
| | 2 情報発信の活性化（学校 HP の充実・紙媒体による広報） |
| | 3 取組の充実に向けた方策（①対等性の担保②持続可能な取組③子ども主役） |



| 令和3年度 | |
|-------------------------------------|--|
| 重点的取組 | 1 地域学校協働活動の推進 |
| | （1）コロナ感染流行下での協働活動の創意工夫と大人の学び、交流の場づくりの促進 |
| | （2）地域学校協働活動推進員・地域コーディネーターの育成・連携 |
| | （3）児童生徒の地域貢献意識の向上とキャリア教育充実の観点を加味した学校・地域連携カリキュラムの改善 |
| | （4）小中高連携による幅広い世代での協働活動の推進 |
| | （5）コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進への理解促進 |
| | 2 学校運営協議会の一層の充実 |
| | （1）児童生徒の参画による学校課題解決に向けた熟議の充実 |
| | （2）女性、若手など多様な地域人材を活用した組織改編による協議会の活性化 |
| | 3 地域に届く情報発信の充実 |
| （1）学校ホームページによるコミュニティ・スクールの取組の地域への浸透 | |